

第52期事業計画書

「生涯教育の振興を図るための事業を行い、もって健康で豊かな知識と情操を有する人材の育成に資することを目的とする」ために、第52期の事業計画を以下に記します。

公1. 生涯教育助成事業

生涯教育の振興を図るために、広く生涯教育に関する機関・研究等に対して助成を行い、その成果を通して豊かな人間性を涵養することを目的としています。

(1) 洋上研修「生産性の船」への派遣事業

公益財団法人日本生産性本部が主催する洋上研修の趣旨に賛同し、船上という日常とは異なった環境の中で人との交流を通じて議論し学んでいくことで人間形成に寄与できるものと考えておりますが、コロナ禍以降は中断しておりました。当財団の事業として今後復活させるかどうかを含めて検討したく、今期も派遣を見合わせます。

(2) 研究助成事業

生涯教育の観点から調査・研究をしている人々を応援し、その研究成果を社会に還元することで多くの人々が豊かな人生を送ることができるようになることを目的として調査・研究費用の一部を助成します。

定 員 12名程度

(3) 教育機関等に対する図書寄贈

図書は、豊かな人間形成の糧となるものです。読書離れが進む中、小・中学生の頃より図書に親しんで学ぶ楽しみを体得してもらいたいとの思いから、目黒区公立の小・中学校へ、毎年図書を寄贈します。また災害復興支援の一環として今期も気仙沼市、松島町、いわき市、東広島市および益城町他の小・中学校へ図書を寄贈します。また、毎年発行している「私の生涯教育実践シリーズ」を全国の図書館に寄贈します。

(4) 途上国支援

世界には教育を受けたくてもその施設すらないところが多くあります。これらの人々に教育の機会を与えるための環境整備を行っている公益法人等へ助成を行う事業で、引き続きフィリピンのミンダナオにおいて保育所の教育環境の整備及び古着等の物資支援を実施します。

(5) アーティスト派遣

小・中学生を対象に、プロのアーティストを派遣し、直接触れ合うことで学ぶ楽しさや本物の世界を体験することにより、豊かな人生を歩むための基礎作りを行う事業

です。公立の小・中学校でプロの音楽家の歌やピアニストの演奏を間近で聴くことや、メディアアーティストによるアニメーションや映像の原理を楽しみながら学ぶことにより STEAM 教育の一助となる体験学習を提供します。

目黒区、気仙沼市、松島町、いわき市、益城町の他、近隣の地域の教育委員会と調整し派遣します。また、ホームページからも受けたい学校を募集します。

(6) (公財)目黒区芸術文化振興財団 参加プログラムへの助成

目黒区芸術文化振興財団が行っている事業に賛同しワークショップ（参加プログラム、セミナー）、演劇ワークショップ、ダンスワークショップ、合唱、美術セミナーに協賛し、その費用を助成し地域の生涯教育の振興を図ります。

(7) ホームステイの派遣事業 新規事業

日本におけるグローバル人材の育成ニーズの高まり、自己成長を求めて海外での経験を希望する若年層の支援として、新たにホームステイ事業を検討しています。単なる語学留学だけでなく、異文化体験、グローバル企業の訪問等を想定し、ホームステイ事業の実績豊富な法人や団体を通じて実施すべく計画中です。内閣府へ事業追加の申請を行ったうえで実施いたします。

定 員 8 名程度

(8) その他

当財団へ生涯教育に関する助成の申し込みがあった場合には、事務局で検討し財団の趣旨に合ったものであれば、予算内で助成します。

公 2 . 生涯教育学習者奨学助成事業

生涯学習を実践する者に対し奨学金を給付し、勉学を経済的、精神的に支援することにより、心身の健全な発展と豊かな人間性を涵養し、もってよりよい社会の形成に寄与することを目的としています。

(1) 科目等履修生奨学金

社会に出てからも学ぶ意欲のある方を応援するために、大学および大学院で科目等履修生として1年間の受講（前期・後期を通して4単位以上）をしている方を対象に奨学助成します。ただし、正規の学生や過去において当財団の奨学生となった方は対象外としています。

定 員 15 名程度

(2) 放送大学奨学金

社会に出てからも学ぶ意欲のある方を応援するために、放送大学で学んでいる年齢28歳以上の方または会社・官公庁等において実務経験3年以上を有する方を対象とした奨学金助成事業です。

① 選科履修生奨学金

いつでも、だれでも、自由な学び方ができる放送大学の選科履修生制度を活用して学ぶ方を対象として奨学助成します。

定 員 15名程度

② 大学院修士全科生奨学金

いつでも、だれでも、自由な学び方ができる放送大学大学院の修士全科生として学ぶ方を対象として奨学助成します。

定 員 10名程度

(3) 彫刻奨学生奨学金

財団創立10周年記念事業として第11期に設けた奨学金助成制度で、大学の芸術学部等（今期は、日本大学、多摩美術大学、女子美術大学の3校が対象校）において彫刻の研究・学習を行っている研究生または学生を対象として奨学助成します。奨学生の作品は、山梨県笛吹市境川町「藤堡の滝大窪いやしの杜公園」に永久展示いたします。なお、展示作品が100体を超えたことを記念し、10月にイベントを行います。

定 員 5名

(4) 海外奨学金（外国人奨学生奨学金）

第25期から中国の天津市にある南開大学の奨学助成事業をスタート、貧困度と成績を指標にして、大学・高校で既に学んでいる学生達を対象に選考しています。

これまで通り、ベトナムの国立ハノイ農業大学、経営管理大学、ハノイ工科大学、ズンサ高校、フィリピンのNPO ミンダナオ子ども図書館（MCL）のスカラシップ（大学）、43期からインドネシア ポリネス大学への助成を行うとともに、奨学金の助成先拡充を図ります。

定 員	132名	〔	中国の3大学	30名
			ベトナムの3大学	45名
			ベトナムの高校	25名
			フィリピンの大学	12名
			インドネシア	20名

(5) 音楽奨学生奨学金

第35期から始まった音楽分野の奨学金は、愛知県立芸術大学の学生、大学院生に加え、今期より東京藝術大学および東京音楽大学を対象とします。また、2年間の助成とし将来の音楽家を支援します。

定 員 9名

(6) ライフシフト奨学金

一度社会に出て働いている方々が生涯を通じて、必用な時に必要なことを学び、ライフシフトを容易にするための奨学金助成事業です。実務経験3年以上を有する方を対象として、大学2年次から大学院卒業までの最短年数を助成しています。大学、大学院修士課程さらには博士課程まで見据えて真剣に研究に取り組み、大学の研究力向上、研究者の質向上により、国際社会に貢献する有用な人材育成を行うことを目指しています。昨今の物価上昇、学費値上げ等の社会環境の変化を考慮し、今期より奨学金を増額します。

定 員 20名程度

公3. 生涯教育講演会・研修会等の事業

より豊かな生きがいを求めるものに対し、「いつでも、どこでも、だれでも」学ぶ機会を提供することにより、健康で豊かな知識と情操を有する人材の育成に寄与するとともに、生涯教育の啓蒙を目的としています。

(1) 講演会の開催

生涯教育の必要性と啓蒙を図るため、学識経験者や舞台芸術家等を講師として招き、向学の方々を対象とした講演会を行います。

気軽に日本の伝統文化に親しみ、その良さを再発見することができるように「能」「狂言」「文楽」「歌舞伎」「雅楽」「講談」についての講演会を行って参りました。今期も新たな学びに通じる講演会を提供しようと考えております。

開催回数 2回

(2) 研修会の開催

プラン作成から講師に参画いただき、講師の解説を現場で直接聴き学習できる機会を提供し、参加者の体験・体感を重視した研修会です。

① 美術研修

1) 美術鑑賞

毎回テーマを定めて、講師と共に美術館等を訪問し本物に触れ、鑑賞し学習することにより、心豊かな人間を涵養します。

研修回数 2回

2) デジタル一眼レフカメラ講座

記録に残す写真、芸術的な写真と目的は様々ですが良い写真を撮りたいと思う気持ちは誰でもあると思います。少しでも良い写真を撮るための講座により、芸術の一端を学びます。終了後作品展を開催します。

研修回数 1回

② 伝承研修

時の流れの中で脈々と生きてきた古きよきものや特徴ある場所を訪ねます。

現場で体感することにより次世代に伝承すべきものを学びます。

研修回数 1回

③ 歴史研修

「城」や「城跡」をめぐり、講師の解説によりそこで何が起きていたかなど想像の世界を広げ臨場感を体験します。「城」を通して歴史や人の生きざまなど軌跡を学びます。

研修回数 1回

④ P L P ライフプランセミナー

100年生きる前提での人生設計が必要であると言われています。マルチステージとリカレント教育の理解が重要になります。今後のライフプランを専門講師の指導のもとに学びます。対象年齢を50歳以上とし、1日コースを企画いたします。

研修回数 1回

⑤ 音楽研修

東日本大震災チャリティコンサートの原点に戻って《行け、我が思いよ、わが歌よ》と題して、日本の合唱曲から原語での宗教曲まで様々な合唱曲を学びます。

結団式1回+研修回数22回+ゲネプロ+発表コンサート

(3) 論文募集

① 第47回論文募集「課題未定」

生涯教育の観点から、主に社会で問題となっていることをテーマに小論文・エッセイを募集します。1月に課題を決定します。

入賞発表 2025年9月初旬 ホームページに掲載

② 論文集の発刊 11月

(4) 機関誌「生涯教育だより」発行

当財団で実施した講演会や研修会の概要や当財団で行う諸事業の予告・報告などを掲載するとともに、賛助会員の意見、感想等の発表の場として活用しています。機関誌は賛助会員、その他関係先に配付します。

発行回数 3回/期(春号、夏号、秋冬号)

発行部数 1,000部/回

(5) 周年事業の見直し

2025年財団創立50周年事業として創作オペラの公演、美術展などの実施に向けた準備をしていきます。

収支予算書

令和 6年10月 1日から令和 7年 9月30日まで

公益財団法人 北野生涯教育振興会

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	169,138,000	146,246,000	22,892,000
基本財産受取利息	11,600,000	12,800,000	△ 1,200,000
基本財産受取配当金	157,538,000	133,446,000	24,092,000
特定資産運用益	2,290,000	3,746,000	△ 1,456,000
特定資産受取利息	2,290,000	2,750,000	△ 460,000
特定資産受取配当金	0	996,000	△ 996,000
受取会費	270,000	270,000	0
賛助会員受取会費	270,000	270,000	0
受取負担金	6,390,000	7,540,000	△ 1,150,000
受取負担金	6,390,000	7,540,000	△ 1,150,000
受取寄付金	10,000,000	0	10,000,000
受取寄附金振替額	10,000,000	0	10,000,000
固定資産受贈益	1,170,000	1,234,000	△ 64,000
建物受贈益	1,170,000	1,234,000	△ 64,000
雑収益	50,000	27,000	23,000
受取利息	50,000	7,000	43,000
雑収益	0	20,000	△ 20,000
経常収益計	189,308,000	159,063,000	30,245,000
(2) 経常費用			
事業費	179,052,000	139,651,000	39,401,000
役員報酬	9,000,000	5,770,000	3,230,000
給料手当	21,200,000	13,311,000	7,889,000
役員退職繰入額	0	840,000	△ 840,000
福利厚生費	60,000	60,000	0
会議費	5,410,000	4,610,000	800,000
旅費交通費	15,397,000	11,812,000	3,585,000
通信運搬費	759,000	889,000	△ 130,000
減価償却費	2,280,000	1,330,000	950,000
消耗什器備品費	105,000	81,000	24,000
消耗品費	40,000	40,000	0
修繕費	700,000	700,000	0
図書文献費	80,000	90,000	△ 10,000
印刷製本費	7,150,000	7,360,000	△ 210,000
光熱水料費	560,000	560,000	0
賃借料	3,070,000	3,065,000	5,000
保険料	40,000	20,000	20,000
諸謝金	3,614,000	3,804,000	△ 190,000
支払負担金	9,100,000	100,000	9,000,000
支払助成金	31,980,000	29,828,000	2,152,000
支払寄付金	230,000	50,000	180,000
支払奨学金	51,074,000	41,290,000	9,784,000
委託費	13,850,000	13,058,000	792,000
渉外費	1,093,000	553,000	540,000
雑費	2,260,000	430,000	1,830,000

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
管理費	32,695,000	26,783,000	5,912,000
役員報酬	8,920,000	7,673,000	1,247,000
給料手当	9,120,000	5,701,000	3,419,000
役員退職繰入額	900,000	960,000	△ 60,000
福利厚生費	1,262,000	1,262,000	0
会議費	2,160,000	1,750,000	410,000
旅費交通費	240,000	240,000	0
通信運搬費	516,000	300,000	216,000
減価償却費	860,000	580,000	280,000
消耗什器備品費	120,000	120,000	0
消耗品費	600,000	600,000	0
修繕費	300,000	300,000	0
図書文献費	48,000	48,000	0
印刷製本費	240,000	240,000	0
光熱水料費	240,000	240,000	0
賃借料	1,200,000	1,200,000	0
保険料	160,000	160,000	0
諸謝金	1,058,000	1,058,000	0
租税公課	171,000	171,000	0
支払負担金	100,000	100,000	0
諸会費	460,000	460,000	0
委託費	3,600,000	3,200,000	400,000
渉外費	180,000	180,000	0
雑費	240,000	240,000	0
経常費用計	211,747,000	166,434,000	45,313,000
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 22,439,000	△ 7,371,000	△ 15,068,000
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 22,439,000	△ 7,371,000	△ 15,068,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 22,439,000	△ 7,371,000	△ 15,068,000
一般正味財産期首残高	1,937,070,606	1,986,967,000	△ 49,896,394
一般正味財産期末残高	1,914,631,606	1,979,596,000	△ 64,964,394
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	20,000,000	0	20,000,000
受取寄付金	20,000,000	0	20,000,000
一般正味財産への振替額	△ 11,170,000	△ 1,234,000	△ 9,936,000
一般正味財産への振替額	△ 11,170,000	△ 1,234,000	△ 9,936,000
寄付金	△ 10,000,000	0	△ 10,000,000
建物受贈益	△ 1,170,000	△ 1,234,000	64,000
当期指定正味財産増減額	8,830,000	△ 1,234,000	10,064,000
指定正味財産期首残高	7,905,844,875	8,134,519,000	△ 228,674,125
指定正味財産期末残高	7,914,674,875	8,133,285,000	△ 218,610,125
III 正味財産期末残高	9,829,306,481	10,112,881,000	△ 283,574,519

収支予算書内訳表

令和 6年10月 1日から令和 7年 9月30日まで

公益財団法人 北野生涯教育振興会

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計					法人会計	合計
	公 1. 生涯教育 助成事業	公 2. 生涯教育 学習者奨学事業	公 3. 生涯教育 講演会・研修会 ・その他事業	共通	小計	一般事業	
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
基本財産運用益	0	0	996,000	105,525,000	106,521,000	62,617,000	169,138,000
基本財産受取利息	0	0	0	11,600,000	11,600,000	0	11,600,000
基本財産受取配当金	0	0	996,000	93,925,000	94,921,000	62,617,000	157,538,000
特定資産運用益	0	0	0	1,600,000	1,600,000	690,000	2,290,000
特定資産受取利息	0	0	0	1,600,000	1,600,000	690,000	2,290,000
受取会費	0	0	0	270,000	270,000	0	270,000
賛助会員受取会費	0	0	0	270,000	270,000	0	270,000
受取負担金	0	0	6,390,000	0	6,390,000	0	6,390,000
受取負担金	0	0	6,390,000	0	6,390,000	0	6,390,000
受取寄付金	10,000,000	0	0	0	10,000,000	0	10,000,000
受取寄附金振替額	10,000,000	0	0	0	10,000,000	0	10,000,000
固定資産受贈益	0	0	0	820,000	820,000	350,000	1,170,000
建物受贈益	0	0	0	820,000	820,000	350,000	1,170,000
雑収益	0	0	0	50,000	50,000	0	50,000
受取利息	0	0	0	50,000	50,000	0	50,000
経常収益計	10,000,000	0	7,386,000	108,265,000	125,651,000	63,657,000	189,308,000
(2) 経常費用							
事業費	46,255,000	62,383,000	32,862,000	37,552,000	179,052,000	0	179,052,000
役員報酬	0	0	0	9,000,000	9,000,000	0	9,000,000
給料手当	0	0	0	21,200,000	21,200,000	0	21,200,000
福利厚生費	0	0	0	60,000	60,000	0	60,000
会議費	1,680,000	600,000	3,130,000	0	5,410,000	0	5,410,000
旅費交通費	1,735,000	2,610,000	11,052,000	0	15,397,000	0	15,397,000
通信運搬費	140,000	265,000	354,000	0	759,000	0	759,000
減価償却費	0	0	0	2,280,000	2,280,000	0	2,280,000
消耗什器備品費	0	105,000	0	0	105,000	0	105,000
消耗品費	10,000	0	30,000	0	40,000	0	40,000
修繕費	0	0	0	700,000	700,000	0	700,000
図書文献費	0	0	80,000	0	80,000	0	80,000
印刷製本費	1,750,000	0	5,400,000	0	7,150,000	0	7,150,000
光熱水料費	0	0	0	560,000	560,000	0	560,000
賃借料	0	0	270,000	2,800,000	3,070,000	0	3,070,000
保険料	0	40,000	0	0	40,000	0	40,000
諸謝金	560,000	656,000	2,398,000	0	3,614,000	0	3,614,000
支払負担金	8,000,000	0	1,000,000	100,000	9,100,000	0	9,100,000
支払助成金	29,630,000	1,000,000	1,350,000	0	31,980,000	0	31,980,000
支払寄付金	0	50,000	180,000	0	230,000	0	230,000
支払奨学金	0	51,074,000	0	0	51,074,000	0	51,074,000
委託費	450,000	5,200,000	7,348,000	852,000	13,850,000	0	13,850,000
渉外費	300,000	623,000	170,000	0	1,093,000	0	1,093,000
雑費	2,000,000	160,000	100,000	0	2,260,000	0	2,260,000
管理費	0	0	0	0	0	32,695,000	32,695,000
役員報酬	0	0	0	0	0	8,920,000	8,920,000
給料手当	0	0	0	0	0	9,120,000	9,120,000
役員退職繰入額	0	0	0	0	0	900,000	900,000
福利厚生費	0	0	0	0	0	1,262,000	1,262,000
会議費	0	0	0	0	0	2,160,000	2,160,000
旅費交通費	0	0	0	0	0	240,000	240,000
通信運搬費	0	0	0	0	0	516,000	516,000
減価償却費	0	0	0	0	0	860,000	860,000
消耗什器備品費	0	0	0	0	0	120,000	120,000
消耗品費	0	0	0	0	0	600,000	600,000
修繕費	0	0	0	0	0	300,000	300,000
図書文献費	0	0	0	0	0	48,000	48,000
印刷製本費	0	0	0	0	0	240,000	240,000
光熱水料費	0	0	0	0	0	240,000	240,000
賃借料	0	0	0	0	0	1,200,000	1,200,000
保険料	0	0	0	0	0	160,000	160,000
諸謝金	0	0	0	0	0	1,058,000	1,058,000
租税公課	0	0	0	0	0	171,000	171,000
支払負担金	0	0	0	0	0	100,000	100,000
諸会費	0	0	0	0	0	460,000	460,000
委託費	0	0	0	0	0	3,600,000	3,600,000
渉外費	0	0	0	0	0	180,000	180,000
雑費	0	0	0	0	0	240,000	240,000
経常費用計	46,255,000	62,383,000	32,862,000	37,552,000	179,052,000	32,695,000	211,747,000
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 36,255,000	△ 62,383,000	△ 25,476,000	70,713,000	△ 53,401,000	30,962,000	△ 22,439,000
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 36,255,000	△ 62,383,000	△ 25,476,000	70,713,000	△ 53,401,000	30,962,000	△ 22,439,000
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用							
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 36,255,000	△ 62,383,000	△ 25,476,000	70,713,000	△ 53,401,000	30,962,000	△ 22,439,000
当期一般正味財産増減額	△ 36,255,000	△ 62,383,000	△ 25,476,000	70,713,000	△ 53,401,000	30,962,000	△ 22,439,000
一般正味財産期首残高					1,449,207,693	487,862,913	1,937,070,606
一般正味財産期末残高					1,395,806,693	518,824,913	1,914,631,606
II 指定正味財産増減の部							
受取寄付金	10,000,000	0	0	10,000,000	20,000,000	0	20,000,000
受取寄付金	10,000,000	0	0	10,000,000	20,000,000	0	20,000,000
一般正味財産への振替額	△ 10,000,000	0	0	△ 820,000	△ 10,820,000	△ 350,000	△ 11,170,000
一般正味財産への振替額	△ 10,000,000	0	0	△ 820,000	△ 10,820,000	△ 350,000	△ 11,170,000
寄付金	△ 10,000,000	0	0	0	△ 10,000,000	0	△ 10,000,000
建物受贈益	0	0	0	△ 820,000	△ 820,000	△ 350,000	△ 1,170,000
当期指定正味財産増減額					9,180,000	△ 350,000	8,830,000
指定正味財産期首残高					5,760,859,626	2,144,985,249	7,905,844,875
指定正味財産期末残高					5,770,039,626	2,144,985,249	7,915,024,875
III 正味財産期末残高					7,165,846,319	2,663,810,162	9,829,656,481